

平成30年11月22日(木)

【税を考える週間 記念講演会】



平成30年11月22日(木)
午後1時30分より、新潟市中央区の新潟市民プラザ(NEXT216階)において「税を考える週間、記念講演会」が行われました。新潟地区納税貯蓄組合連合会事務局長の八木庸一氏の開会宣言に始まり、新潟間税会会長の高野幹也氏の開会の挨拶の後、第1部として新潟税務署長・篠田雅史氏により「税務行政の将来像」と題し約40分の講演が行われました。

篠田氏からは、税務行政に関する最近の取り組み状況として、スマートフォン・タブレットによる電子申告が可能になることやe-Taxの利用手続がますます簡単になることなど、納税者の利便性の向上に向けた取り組みを中心に、プロジェクターを駆使し、大変分かりやすい説明がされました。

続いて第2部は新潟県糸魚川市出身、テレビ番組のキャスターとして活躍が有名な伊藤聡子氏により「地域経済の活性化が日本の元気を取り戻す鍵」と題し、講演が行われました。

「民間の力で地域から日本を元気に！課題の数だけ可能性がある！地方こそ確実にやってくる未来の課題に答えられる！人々の心に訴えるブランドを確立する！多様な人材を積極的に活用し、優しく強く自立した地域を作る！幸せか・幸せじゃないか 志を高く！税を納めることは社会への貢献！」

独自の取材に基づいた地方企業の取り組み事例を次々に紹介し、IT分野との融合やブランド化、地域雇用の確立や女性活用の話題も織り交ぜながら、地域経済の活性化がいかに重要かお話いただきました。



取材記事 広報部 山口 隆